

2015年度入学式後の蒼山会ご挨拶

2015年4月2日 尾池和夫

ご家族のご入学、心からお祝い申し上げます。入学式の式辞でも申し上げましたが、今年入学された方には、東日本大震災の後、さまざまの努力の末に入学を果たした方が多くおられます。各地で、小学校の時に被災した人たちが中学校に入り、中学校の時に被災した人たちが、高等学校に入り、そして高等学校で被災した方たちが大学に入りました。今年3月の卒業式では、入学直前に被災した方たちが卒業式を迎えました。それぞれにおめでとうと申し上げるのですが、一方では、被災して進学もままならない方たちが多くおられることもあり、支援を心がけていなければなりません。

入学して学園生活を始める方たちのご家族には、お祝い申し上げると同時に、いくつかのことを、私からお伝えしたいと思います。

まず、この蒼山会のことです。この会は、大学の教職員と学生たちとそのご家族を?ぐ、大切な情報交換の場です。この役目をしっかりと果たせるよう、最初にお願ひしたいことは、この会の役員に、ぜひ積極的に立候補していただきたいということです。さまざまの優れたアイデアを、役員会で議論していただいて、今年入学した学生の皆さんが、心身ともに健康で通学し、4年後の卒業式を全員が迎えられるよう、教職員とともに、支援する体制を充実させていきたいと願っています。

この春秋座でも、さまざまの行事が行われます。卒業式もこの劇場で、今年は3月14日に行われました。それに先立ち、卒業と修了の制作展がキャンパス全体で開催されました。その日に向かって、今日入学した皆さんの活動が始まります。それをしっかりと支援していくのが、瓜生山学園の役員であり、大学の教職員であり、この蒼山会の皆さんです。

さらに、卒業式を迎えるとき大切なことは、卒業する1人ひとりが人生の目標を具体的に描いていて、進路が定まっているということです。それを最も重要であると考え、今日から皆さまにも、学生1人ひとりの卒業後の進路のことを考えていただきたいのです。

大学で大切なことは、学園生活の安全ということです。大学では学生たちが安心して学園生活を送ることができるよう、安全な学習環境を提供する努力を常に続けています。建物の耐震補強を実施し、建物を改築し、設備の整備を行います。それらは瓜生山学園として今後とも不断に努力して参りますが、ご家族の皆さまには、学生たちの学外での活動の安全を確保するようご協力をお願いします。この京都の地へ移り住んで初めて、家を離れて暮らす方がおられます。通学経路の安全を含め、住環境の安全を確保していただき、心身ともに健康で安全な学習活動ができるよう、環境を確保していただきたく存じます。

学習には予習と復習が重要です。講義で得られる内容に予習復習で学習する内容が合わせて評価されて単位が与えられます。自習時間を十分確保することが学習の効果を上げ、

卒業後の進路を決定するものになります。

他にもさまざまのことがあります。これからは大学生になったご家族のことを、話をよく聞きながら静かに見守ってあげていただきたいと思います。自立した人生を歩き始める1人の社会人として、見守ってあげていただきたいと思います。

これからの学園生活が豊かなものとなるよう祈りつつ、今日の蒼山会での私のご挨拶いたします。あらためて、ご入学おめでとうございます。

ありがとうございました。